

検査で止められない「不良」！旧態依然とした品質保証体制の「漏れ」  
品質事故の予備軍であるクレームをゼロにする。クレームの根源である不良をゼロにする。

# 品質クレーム×不良ゼロへのアプローチ

検査ですべての不良を止めることは不可能。不良が減ると検査ミスが減りクレームも減る。  
だから、不良をゼロ、検査ミスゼロにし、その結果、最小コストでクレームをなくせる。  
そのために必要な、意識改革、検査機能の強化、不良ゼロの具体的な方法を解説。

**日時** 2019年 **5月21日(火)** 10:00~17:00  
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

**主催**  日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場  
(大阪市中央区北浜東 2-16)

**受講料** **43,200円** (資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

**大阪会場(日刊工業新聞社 大阪支社10階)**  
大阪市中央区北浜東2-16 TEL:06(6946)3382

\*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分  
■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口  
■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口



**日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場**

〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16  
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。  
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

**●申込方法**

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。  
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
㈱日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

**●申込先** 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係  
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

<b>受講申込書</b>		<b>5/21 クレームゼロ</b>		お申し込みは <b>FAX 03-5644-7215</b>	
■受講料: 43,200円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円		※振込手数料は貴社にてご負担ください。			
会社名	フリガナ	業種			
氏名	フリガナ	TEL			
	部署・役職	FAX			
所在地	〒				
	E-mail:	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。			

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.192011

**個人情報の取り扱いについて**

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。  
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

2017年、2018年は品質事故が新聞紙上をにぎわした年でした。しかし、この現象は今に始まったことではありません。高品質と評価されていた日本のモノづくりにおいて品質事故が多発し始めたのは2000年、今から18年前からでした。そして、その後、4～5年周期で事故が起き、今回の現象はその第5弾に当たります。

講師は、2000年当時から「品質事故」という現象に注目し、その原因を追究し対策を提案し続けてきました。

その実際の活動でわかったことは、

「**検査では止められない不良がある**」ということと、

「**20年間不良発生・クレームの根本原因は変わっていない=品質保証体制にそもそも漏れがある**」  
という事実でした。

本セミナーでは、品質事故の予備軍である「クレーム」の根本原因と具体的な対策を実際行った数々の事例から紹介し、さらに、品質事故の実態、根本原因と対策、不良をゼロにする具体的なアプローチも追加・解説いたします。

不良が減れば検査の見逃しが減りクレームも減る、コストミニマムでクレーム（品質事故）をゼロにするというものづくり企業における健全なクレーム対策法を実現することができます。

今、日本の企業ではどこが品質事故を起こしても不思議ではない状態に陥っています。

みなさんが知らないうちにその芽は発芽しているかもしれません。

危機的状況に陥る前に「クレームゼロ」を実現し、「品質事故」への可能性を断ちましょう。

不良ゼロの方法を紹介



講師著の書籍を進呈！

## 講師

株式会社ロンド・アプリウエサービス

中崎 勝氏

【略 歴】1981年、ブリヂストンに入社。設備設計と保全業務に従事。1987年に日本DECに移籍し、システム及びAIの開発に従事。1992年、ロンド・アプリウエサービスを設立し、製造業を中心としたコンサルティングで多くの成果を上げる。不良ゼロを可能にする実践アプローチにもとづく指導方法に定評があり、国内メーカーに加え、海外メーカーなどでも大きな改善効果を上げている。また、技術セミナーも幅広く実施しており、具体的な要因分析にもとづき、かつ具体例を提示するプログラムで好評を得ている。

## プログラム

### 品質事故の実態

- ・品質事故の実態（講義）
- ・20年間変わらなかったクレームの根本原因
- ・クレーム発生のメカニズム
- ・クレームをゼロなくすには

- 3.4 異物起因の不良をゼロにする
- 3.5 設備起因の不良をゼロにする
- 3.6 ポカミスによる不良をゼロにする
- 3.7 検査で見つからない不良をゼロにする
- 3.8 意外と大切な梱包作業改善

### 1. 現場の意識改革「マインドチェンジ」

- 1.1 まずはマインドチェンジ
- 1.2 品質投資はペイする
- 1.3 品質セミナー：マインド教育

### 4. 任せ切りの現場からの脱却

- 4.1 従来の教育・訓練の欠陥
- 4.2 標準を整備する
- 4.3 教育・訓練のしくみづくり

### 2. 検査機能の強化

- 2.1 クレームの原因
- 2.2 顧客条件による全数検査
- 2.3 検査作業改善
- 2.4 検査情報のフィードバック
- 2.5 AIによる自動外観検査
- 2.6 クレームゼロのための検査に対する考え方

### 5. 設計ミスゼロへのアプローチ

- ・設計ミスの要因と対策

### 6. 部品不良ゼロ（購買）へのアプローチ

- ・部品不良の原因と対策

### 3. 不良ゼロへのアプローチ

- 3.1 不良が減ればクレームも減る
- 3.2 「検査で見つからない不良」はどうするか
- 3.3 不良をゼロにするには

### 7. 品質保証体制の整備

- 7.1 スピード対応
- 7.2 火消し隊
- 7.3 QTS
- 7.4 早期情報公開

\*本セミナーでは、自社にお帰りになり「マインド教育」を行えるようになるためにディスカッションを最初とまとめのセッションに入れております。